

## 平成30年度第4回秋田市小・中学校適正配置推進委員会 会議要旨

日 時：平成31年1月22日(火)

午後4時～午後5時

会 場：イヤタカ

ハーモニーホール

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

### 3 報告事項

事務局から平成30年度第3回秋田市小・中学校適正配置推進委員会の内容について報告した。

### 4 議 事

#### (1) 秋田市小・中学校配置案について

秋田市小・中学校配置案について、資料1に基づいて事務局から説明を行い、今回の推進委員会で決定いただきたい旨を説明した。

〔委員からの意見等〕

○委員長 南部地域ブロックの留意事項であるが、「御所野学院中の動向も考慮すべきである」という表記は、「御所野学院中のあり方も考慮すべきである」はとしてはいかがか。

○事務局 「あり方を考慮する」としても、今後、御所野学院中に動きがあるような誤解を与えかねないため、③として1つの項目とし、事実を述べるような表現に修正したい。

○委員長 他に委員から特に意見がなければ、一部修正した「学校配置案」を本委員会として決定することとする。

#### (2) 地域ブロック協議会の委員構成について

来年度から始まる地域ブロック協議会の委員構成の基本的な考え方、会場、回数、委員構成案などについて、資料2に基づいて事務局から説明した。

〔委員からの意見等〕

○委 員 公募委員が2名となっているが、若干名としてはどうか。もう少し若い人の声がほしいところである。

○事務局 資料では仮置きで2名ずつとしたところであり、募集する際には若干名としたい。

○委 員 各地域によって協議会の規模が異なるので、委員が多いところは多めに募集してもよいのではないか。また、募集する際は、若い世代に限定せずに、広い世代に広く呼びかけてはどうか。

○事務局 色々な考えを持って応募したい方もいると思うので、条件について検討したい。

- 委員 P T Aの代表者に任期はないのか。協議の継続性を確保するためには、引き継ぎが十分にできるように配慮が必要だと思う。
- 事務局 人選の際に配慮していただくようP T Aに案内したい。
- 委員 地域ブロックごとに幼稚園の組織があれば、委員になってもらうことも考えられるのではないか。
- 事務局 幼稚園や保育所は、小学校の学区と関係なく園児が通っていることもあるので、地域ごとに代表を選ぶことは難しいと考えている。幼児の保護者には、公募委員になっていただければありがたい。
- 委員長 年数回の協議では、全てを協議会で考え、議論するのは難しいかもしれない。仮に教育委員会で原案を示し、それを協議するとなると、協議機関というよりは決定機関の意味合いが強くなると思われる。こういった進行を考えているのか。
- 事務局 協議会の後に、所属する各団体に持ち帰ってもらい、そこで出された意見を集約することを想定している。
- 事務局 最初から事務局案を示すのではなく、協議会での話し合いの中で教育委員会からたたき台を出してほしいという意見があれば、こちらから原案を示すことも考えていきたい。
- 委員長 協議会は非公開で行うのか。
- 事務局 協議会の協議内容については、「協議会だより」を保護者や町内会へ配布してお知らせする予定である。協議された内容は公開するが、現時点では、オブザーバー以外は参加できない想定である。
- 委員 校長はオブザーバーではなく、委員に入れるべきではないか。
- 事務局 校長は学校経営を任されているものの、学校設置者である市側の立場にあることから、地域協議において、統合の方向性などについて積極的に発言する役割は考えていない。
- 委員 小・中学校校長会で学校適正配置の全体像や取組状況を説明するべきではないか。
- 事務局 時期を逸することなく、校長会で丁寧に説明していきたい。
- 委員 市議会議員の扱いはどうなるのか。
- 事務局 市議会議員にもオブザーバーとして協議会に出席いただけることとしたい。なお、オブザーバーの取り扱いについては、本日いただいた意見を参考に、もう少し検討したい。

### (3) その他

事務局から、第5回推進委員会の日程と会場をお知らせするとともに、次回、秋田市小・中学校適正配置基本方針を確認していただくことを伝えた。

## 5 閉 会

以 上